

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

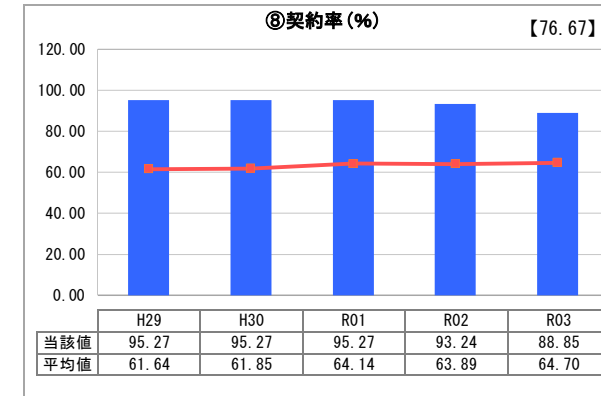
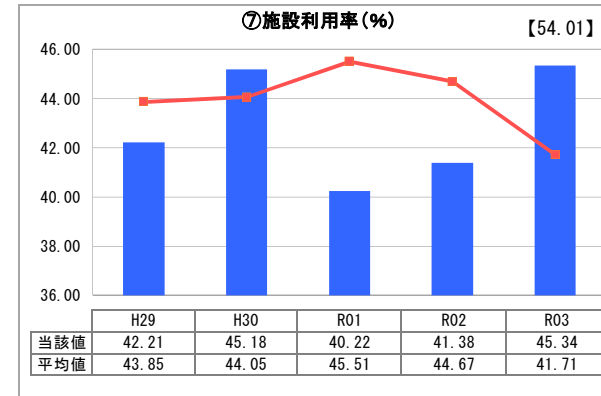
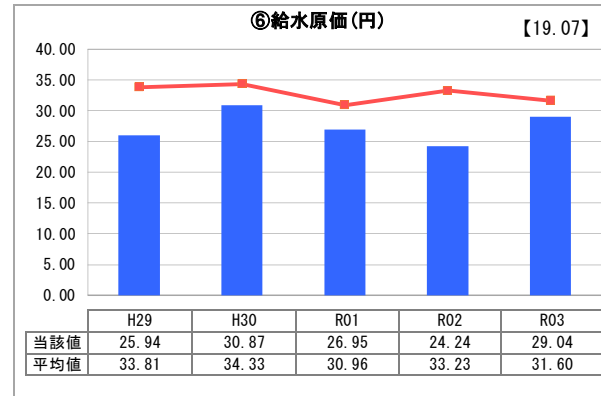
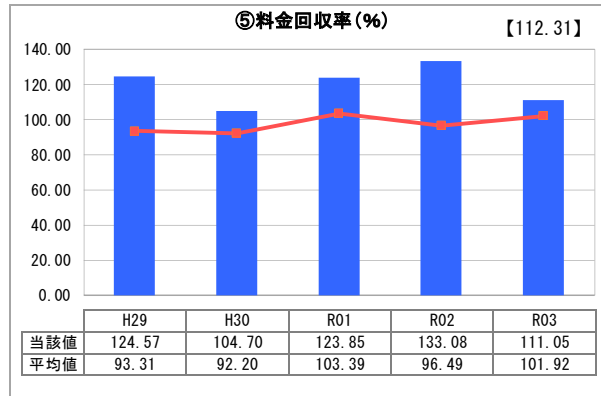
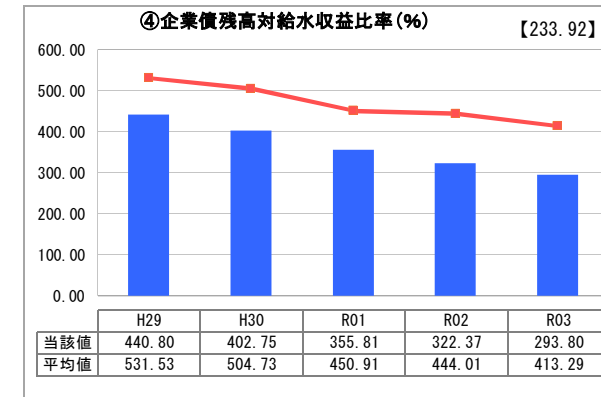
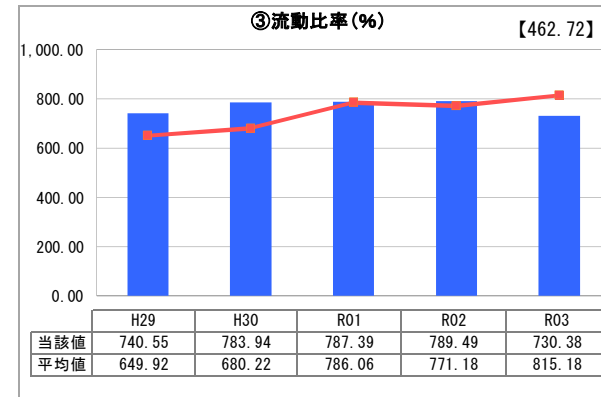
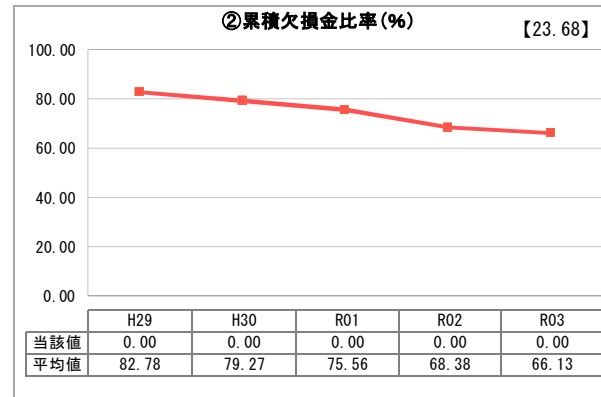
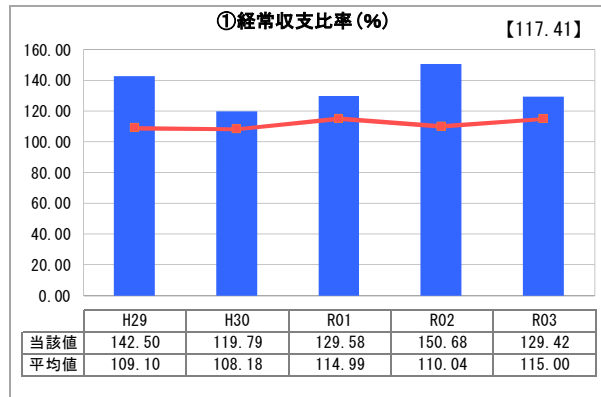
福島県 西郷村
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	29,600	小規模	3	13.422
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	67.8	4	26,300	非設置	

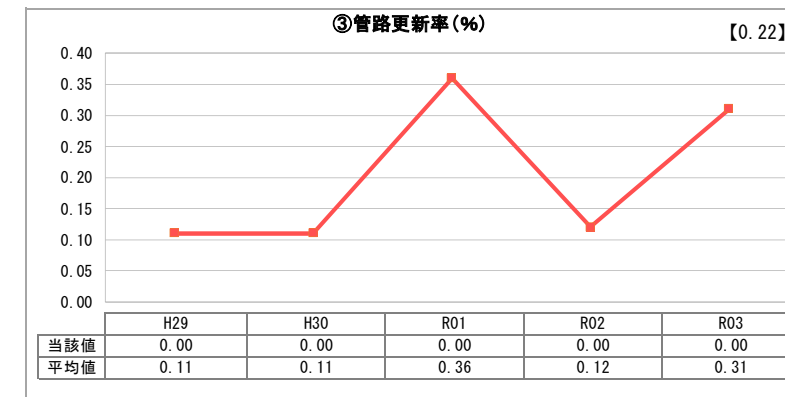
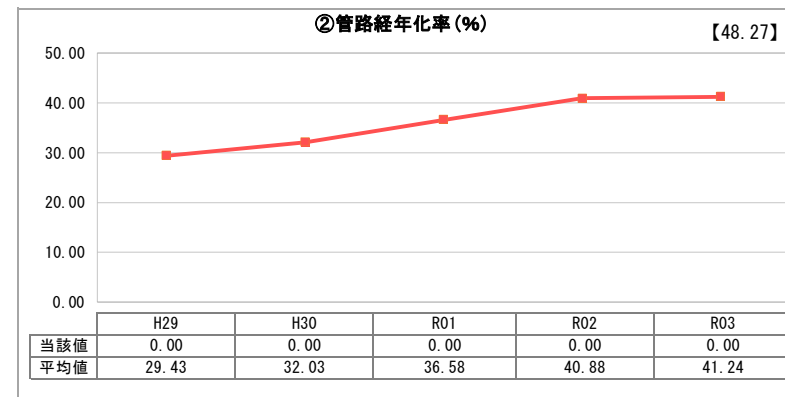
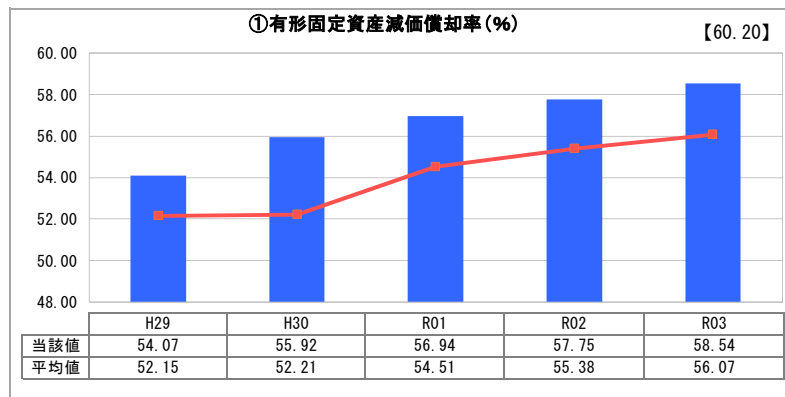
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超えており経営の健全性は保たれていると考えられる。今後も、当該指標が100%以上を保持しよう、更なる費用の削減、縮減に努めていく。
 ② 累積欠損金比率は0%と健全経営を維持している。
 ③ 流動比率は短期債務に対して十分な支払能力を有しているとされる概ね200%の水準を大幅に超えて確保しており、財務状況は良好であるといえる。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体と比べて低く、毎年度、比率は減少傾向にある。今後も適正な借り入れに努めていく。
 ⑤ 料金回収率は類似団体を上回っており健全な経営状況にあるといえる。
 ⑧ 契約率は事業所の契約水量の減少により減少した。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることから、老朽化が徐々に進行している状況にある。
 ②、③ 管路経年管は残存していない状況にあり、今後はアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

全体総括

現状では経営の健全化、効率化については概ね良好であると考えられるが、今後はユーザー企業の節水や生産ラインの合理化等、契約水量の減少が見込まれる可能性もあるため、将来の安定的な収入の確保に努めたい。
 また、老朽化については有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることから、優先順位や投資規模等を考慮しつつ施設の改良、更新を進め施設の効率性を高めながら将来の運営体制や投資の在り方について検討していく必要があると考えられる。